



# 平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 チヨダ  
コード番号 8185 URL <http://www.chivodagr.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 舟橋 政男  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田木 敬

TEL 03-3316-4131

四半期報告書提出予定日 平成25年1月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年11月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	113,295	△1.9	9,528	14.2	10,133	15.2	5,215	47.9
24年2月期第3四半期	115,508	△2.4	8,344	132.5	8,799	115.7	3,526	242.1

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 5,916百万円 (76.2%) 24年2月期第3四半期 3,358百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	131.31	131.09
24年2月期第3四半期	88.78	88.73

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第3四半期	132,895	76,167	52.9
24年2月期	126,756	72,719	52.9

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 70,307百万円 24年2月期 67,037百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	20.00	—	30.00	50.00
25年2月期	—	25.00	—		
25年2月期(予想)				35.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成25年1月9日)公表いたしました「平成25年2月期(第66期)配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

## 3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	151,823	△1.5	11,535	7.5	12,032	6.1	5,776	19.4	145.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期3Q	41,609,996 株	24年2月期	41,609,996 株
② 期末自己株式数	25年2月期3Q	1,889,925 株	24年2月期	1,888,906 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期3Q	39,720,559 株	24年2月期3Q	39,721,295 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想と異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

(参考) 個別業績予想

平成25年2月期の個別業績予想 (平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	109,600	△0.6	9,400	6.3	4,970	41.4	125	12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4. 補足情報 .....	9
(1) 個別経営成績(累計) .....	9
(2) 個別財政状態 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の我が国経済は、緩やかな景気回復基調にありましたが、欧州の債務危機や新興国の景気後退により世界経済の先行きが懸念される中、中国とのカントリーリスクの表面化、エネルギー問題や消費税増税法案の可決など、企業を取り巻く環境は厳しく不透明な状況が続いております。

当社グループが属する小売業界においても、このようなマクロ経済の影響を免れず、売上高は震災の落ち込みによる反動が顕著にあらわれた3月、4月を除き、厳しい状況で推移いたしました。

収益面におきましては、従来から進めてまいりましたPB（プライベートブランド）及びNPB（ナショナルプライベートブランド）戦略の推進による粗利益率の向上と販管費の抑制を行うとともに、収益重視の出店戦略に取り組みました。この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、靴事業・衣料品事業ともに前年同期と比較して増益を確保いたしました。

当第3四半期連結累計期間の出退店は、出店57店、退店44店を実施し、当第3四半期連結会計期間末店舗数は1,634店（前年同期比21店減）となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高113,295百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益9,528百万円（同14.2%増）、経常利益10,133百万円（同15.2%増）、四半期純利益5,215百万円（同47.9%増）となりました。

セグメント別の業績の概要は次のとおりであります。

#### <靴事業>

当第3四半期連結累計期間における靴事業の売上高は、震災の反動もあって春先は好調に推移したものの、9月、10月に気温が下がらず秋口の売上不振が響き、既存店ベースで前年同期を下回り、減収となりました。

商品面におきましては、紳士靴部門は防水・防滑・高機能のハイドロテックシリーズの「ブラックコレクション」が堅調に推移しました。紳士カジュアル靴部門においては、「バイオフィッター・フォーメン」シリーズの売れ行きが引き続き好調だったほか、若年層をターゲットに、この秋ローンチした「TEXACO（テキサコ）」が好評を得て、売上を底上げいたしました。婦人靴は「セダー・クレスト・オレンジスター」が好調に推移するとともに、11月の「2990プロジェクト」においてレインシューズをローンチするなどラインロビングを上げた「mcマリ・クレール」が好調に推移いたしました。スニーカー部門は、マーケティング本部企画広告グループによるPB及びNPBの「若年層浸透戦略」により、「セダー・クレスト」、「Op（オーシャンパシフィック）」が好調に推移いたしました。さらに、昨年来よりマーケティング本部全国販促グループが中心となり定期的に実施してまいりました「高品質・低価格」の統一販促「990プロジェクト」「1990プロジェクト」等がTVで取り上げられるなど、話題と支持を集めました。また、若年層の顧客化を目的とした女性ファッションマガジン「Shutte（シュッテ）」を春と秋に配布し、当社製品のイメージアップを図るとともに、同ネームの婦人靴をこの秋冬から販売して大変好評を得ました。この結果、PB及びNPB等のシェアは前年同期と比較して4ポイント増の約36%と増加いたしました。

粗利益率は、個別催事毎に管理を強化し、低粗利商品の投入の抑制、PB及びNPB商品のシェア増加等により、前年同期と比較して上昇いたしました。経費面では、9月以降関東地区中心に計画より出店を増加させましたが、経費コントロールに注力したことや、不採算店の退店等による店舗数減少に伴う管理費減少効果もあり、前年同期比微減の計画通りの着地となりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の靴事業の営業利益は増益となりました。

当第3四半期連結累計期間の出退店は、東京靴流通センターを中心として出店37店、退店25店を実施し、当第3四半期連結会計期間末店舗数は1,151店（前年同期比6店減）となりました。

この結果、売上高は84,930百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

<衣料品事業>

当第3四半期連結累計期間における衣料品事業の売上高は、秋口は気温が低下せず苦戦を強いられましたが、春先の好調に支えられ既存店売上は前年同期を上回りました。全店ベースでは不採算店の退店等による店舗数の減少により減収となっております。

商品面におきましては、お客様のニーズに応える様々な機能を付加したPB商品を開発、販売いたしました。特に、抗菌・防臭・清潔が持続する「ナノプラチナデニム」や、商品展開を従来のインナーからアウターや小物などにも拡大した「マックヒート」、9月にローンチした「リークーパー」が好調に推移しました。また、フリーマガジン「NANA style」発行（10万部）による着こなしの提案やTVCMの継続を行うとともに、モバイル会員向けの機動的な情報発信、毎月15・16日「シルバーデー」の実施など多面的な施策を行い、客層拡大に努めました。

粗利益率は、商品アイテム数の削減を実施したことにより、商品回転率の向上による鮮度アップとともに建値消化率が上がったこと及びPB商品の販売シェアの高まりにより48.7%と大きく改善しました。また、経費面で販管費の戦略的なコントロールに注力した結果、営業利益1,888百万円（前年同期比30.4%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間の出退店は、出店20店、退店19店を実施し、当第3四半期連結会計期間末店舗数は483店（前年同期比15店減）となりました。

この結果、売上高は28,364百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における当社グループの総資産は、132,895百万円（前連結会計年度末比6,138百万円増）となりました。

流動資産は、86,602百万円（前連結会計年度末比6,601百万円増）となっております。これは、主として現金及び預金が49,760百万円（前連結会計年度末比2,735百万円増）、受取手形及び売掛金が3,609百万円（同1,676百万円増）、商品が31,142百万円（同2,907百万円増）となったことによるものであります。

固定資産は、46,293百万円（前連結会計年度末比462百万円減）となっております。これは、主として土地が4,352百万円（前連結会計年度末比1,109百万円増）、投資有価証券が8,811百万円（同674百万円減）、敷金及び保証金が18,699百万円（同1,011百万円減）となったことによるものであります。

(負債の状況)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、56,727百万円（前連結会計年度末比2,690百万円増）となりました。

流動負債は、41,315百万円（前連結会計年度末比2,266百万円増）となっております。これは、主として支払手形及び買掛金が28,491百万円（前連結会計年度末比3,192百万円増）となったこと、未払法人税等が1,843百万円（同987百万円減）となったことによるものであります。

固定負債は、15,412百万円（前連結会計年度末比424百万円増）となっております。これは、主として退職給付引当金が8,459百万円（前連結会計年度末比607百万円増）、長期リース資産減損勘定が365百万円（同217百万円減）となったことによるものであります。

(純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、76,167百万円（前連結会計年度末比3,448百万円増）となりました。これは、主として利益剰余金が58,191百万円（前連結会計年度末比3,031百万円増）となったことによるものであります。自己資本比率は52.9%（前連結会計年度末比0.0ポイント増）となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期におきましては、欧州の債務危機問題や新興国の景気後退による世界的な景気減速への懸念が消えないほか、主要な商品供給国である中国との関係悪化による調達不安も台頭しているなか、先行き不透明な経営環境が依然として続くものと見られます。

このような状況下、当社グループといたしましては主力事業である靴事業では、より一層のPB商品の拡充による粗利益率の向上をさらに確実なものにするべく、商品開発とマスメディアを用いた全国統一型のキャンペーンの拡大を行うほか、経費面におきましてもより効率化を図ってまいります。衣料品事業におきましても粗利益率の向上を図るとともに経費コントロールに注力し、販売の増加が見込めるMDへの転換を図ってまいります。

連結業績予想につきましては、平成24年4月10日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。
- (4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(役員退職慰労引当金)

連結子会社㈱マックハウスの役員退職慰労引当金については、従来、役員に対する退職慰労金の支出に充てるため、内規に基づく要支給額を計上しておりましたが、平成24年4月10日開催の取締役会において役員退職慰労金制度を廃止することを決議するとともに、平成24年5月23日開催の定時株主総会において在任期間に対応する退職慰労金の打ち切り支給を行うことを決議しております。

なお、支給の時期は各取締役及び監査役の退任時とし、平成24年5月23日開催の定時株主総会までの期間に相当する役員退職慰労引当金相当額135百万円を固定負債の「その他」に計上しております。

(退職給付引当金)

当社は、平成25年1月1日より従来の退職給付制度を改定し新たに退職一時金制度及び確定拠出年金を組み合わせた退職給付制度に移行することについて、平成24年10月9日に労使合意に至っております。この移行に伴う会計処理につきましては「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号)を適用しております。

本移行に伴う影響額は、当第3四半期連結累計期間の特別損失として241百万円計上しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	47,024	49,760
受取手形及び売掛金	1,933	3,609
商品	28,235	31,142
繰延税金資産	1,081	497
その他	1,743	1,606
貸倒引当金	△16	△13
流動資産合計	80,001	86,602
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,762	4,943
工具、器具及び備品（純額）	500	538
土地	3,242	4,352
リース資産（純額）	475	476
その他（純額）	6	78
有形固定資産合計	8,987	10,388
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	9,485	8,811
敷金及び保証金	19,710	18,699
繰延税金資産	3,561	3,424
その他	1,477	1,461
貸倒引当金	△153	△136
投資その他の資産合計	34,082	32,259
固定資産合計	46,755	46,293
資産合計	126,756	132,895
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,299	28,491
ファクタリング債務	3,166	2,267
短期借入金	740	740
1年内返済予定の長期借入金	1,046	1,025
リース債務	196	230
未払法人税等	2,831	1,843
未払消費税等	498	244
賞与引当金	611	145
店舗閉鎖損失引当金	187	131
リース資産減損勘定	477	304
資産除去債務	26	30
その他	3,968	5,860
流動負債合計	39,049	41,315



(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,592	1,862
リース債務	390	344
繰延税金負債	40	40
退職給付引当金	7,851	8,459
役員退職慰労引当金	138	6
転貸損失引当金	567	505
長期預り保証金	842	796
長期リース資産減損勘定	582	365
資産除去債務	2,124	2,134
その他	857	896
固定負債合計	14,988	15,412
<b>負債合計</b>	<b>54,037</b>	<b>56,727</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	6,893	6,893
資本剰余金	7,489	7,489
利益剰余金	55,160	58,191
自己株式	△3,026	△3,028
株主資本合計	66,516	69,545
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	521	761
その他の包括利益累計額合計	521	761
新株予約権	39	97
少数株主持分	5,642	5,763
純資産合計	72,719	76,167
<b>負債純資産合計</b>	<b>126,756</b>	<b>132,895</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 3 月 1 日 至 平成23年11月30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 3 月 1 日 至 平成24年11月30日)
売上高	115,508	113,295
売上原価	60,219	57,581
売上総利益	55,289	55,713
販売費及び一般管理費	46,944	46,184
営業利益	8,344	9,528
営業外収益		
受取利息	73	66
受取配当金	40	45
受取家賃	964	941
その他	479	461
営業外収益合計	1,557	1,513
営業外費用		
支払利息	47	38
不動産賃貸費用	876	841
転貸損失引当金繰入額	119	18
その他	58	11
営業外費用合計	1,102	909
経常利益	8,799	10,133
特別利益		
固定資産売却益	0	232
投資有価証券売却益	—	46
転貸損失引当金戻入額	9	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	56	18
負ののれん発生益	—	60
その他	57	17
特別利益合計	122	374
特別損失		
固定資産除却損	33	35
投資有価証券売却損	5	2
減損損失	394	134
店舗閉鎖損失引当金繰入額	124	40
災害による損失	259	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,611	—
退職給付制度改定損	—	241
その他	43	29
特別損失合計	2,472	482
税金等調整前四半期純利益	6,449	10,025
法人税、住民税及び事業税	2,880	3,779
法人税等調整額	△249	569
法人税等合計	2,631	4,349
少数株主損益調整前四半期純利益	3,818	5,676
少数株主利益	292	460
四半期純利益	3,526	5,215

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,818	5,676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△460	239
その他の包括利益合計	△460	239
四半期包括利益	3,358	5,916
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,066	5,455
少数株主に係る四半期包括利益	292	460

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

平成25年2月期第3四半期の個別業績(平成24年3月1日～平成24年11月30日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	82,350	△1.4	7,319	11.3	8,050	15.9	4,503	55.6
24年2月期第3四半期	83,532	△1.1	6,575	58.0	6,947	52.4	2,893	50.6

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年2月期第3四半期	113	39	113	20
24年2月期第3四半期	72	85	72	81

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
25年2月期第3四半期	98,354		61,658		62.6	
24年2月期	94,688		59,054		62.3	

(注) 四半期個別財務諸表は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。